

翔け女性たち

はばた

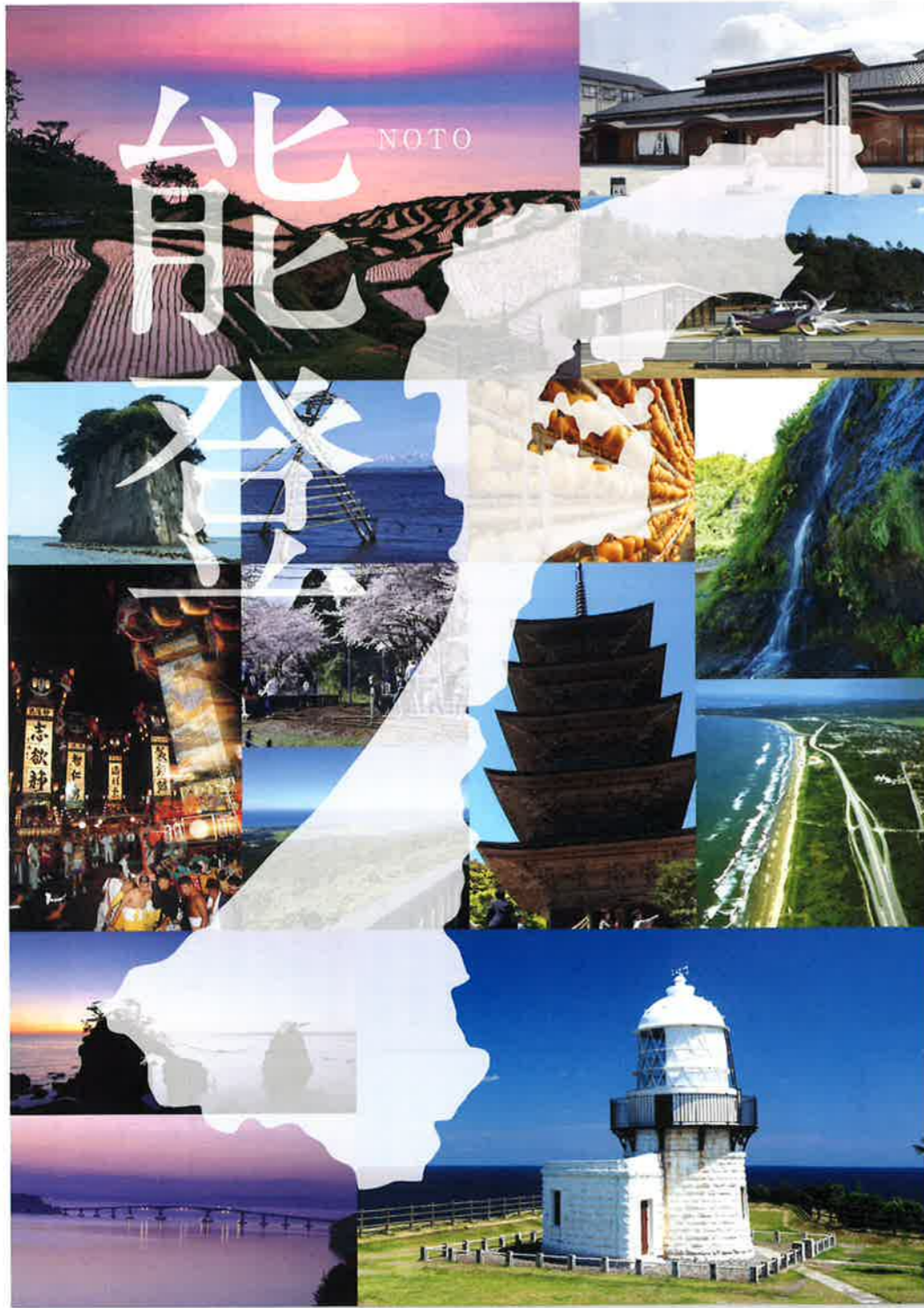
公益社団法人 金沢法人会女性部会
Kanazawa Women's Corporate Association

Vol.25
Dec.10.2024

【発行所】
公益社団法人
金沢法人会女性部会
〒920-0919
石川県金沢市南町4-60
(大同生命ビル8階)
TEL 076-222-2907
FAX 076-224-2239

CONTENTS

金沢税務署長のご挨拶 女性部会長の挨拶	2
各委員長の挨拶	3
特集 『つなく』能登半島地震	4～7
レディ加賀鑑賞会 日銀視察	8
税務研修 岐阜中濃法人会交流懇談会	9
全国女性フォーラム（広島） 石川県連女性部会連絡協議会（総会）	10
第29回通常総会 香道体験	11
観能会「半節」 奈良 視察研修	12
食品ロス削減活動 社会貢献活動	13
年間事業活動 租税教室開催	14
税に関する絵はがきコンクール	15
税について知ろう	16～17
年末調整についてのお知らせ	18
女性部会の委員会組織	19
新入会員紹介 編集後記	20



© 石川県観光連盟

令和6年能登半島地震・豪雨災害発生

令和6年（2024年）1月1日午後4時過ぎ、能登を震源とするマグニチュード7.6、最大震度7を観測する強い地震が発生した。能登を中心に建物の損壊が多発し、多くの家屋が崩れ、流れ出した土砂は集落をのみこんだ。輪島朝市通りでは大規模火災が発生し、沿岸部は津波が襲い地面は隆起した。9月には豪雨災害が発生し、復興に向かう人々の行く手を阻むかのように甚大な被害をもたらした。

各委員長の挨拶

金沢税務署長の挨拶

事業者の取引全体のデジタル化を推進してまいります



金沢税務署長
酒井 義久

本年七月の定期人事異動により、金沢税務署長を拝命いたしました酒井でございます。

公益社団法人金沢法人会女性部会の細川部会長をはじめとして、部会員の皆様方におかれましては、平素から税務行政の円滑な運営につきまして、深い御理解と多大な御支援を賜っており、

女性部会長の挨拶

つながりを深め 共に輪を広げよう!



女性部会長
細川 エリ子
Mirairiz (株)

二〇二四年元日に起きた能登半島大地震。そして九月の記録的な豪雨と二重の大災害に見舞われました。被災された方々、ご家族、関係者の皆様によりお見舞い申し上げます。復興を願ひ、癒えぬ心身の傷を思い、被災地域

本紙をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

金沢法人会女性部会におかれましては、「税に関する絵はがきコンクール」や「租税教室」などの租税教育活動に積極的に取り組まれていることや、女性の持つ豊かな創造性と熱意のある行動力を活かし、「タオル・石鹸持ち寄り運動」や「食品ロス」削減に向けた活動などの社会貢献活動を展開しておられますことに、心から敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

さて、国税庁では、昨年六月に「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」税務行政の将来像2023」を公表し、これまでの「納税者の利便性の向上」と「課税・徴収事務の高度

に寄り添う支援に努めて参ります。令和六年度女性部会の事業の先駆けとして、第十八回全国女性フォーラム広島大会が四月に広島グリーンアリーナを会場に開催されました。一六〇〇名余りの会員が一堂に会し、盛大な式典に続き、華やかな雰囲気の中、全国各地から集まった会員が交流を深めました。

恒久平和の象徴の地、広島で開催された全国大会。会場から程近くに平和記念公園があります。世界中から平和を求め訪れる人達に交り、原爆ドーム、平和祈念資料館へと連なる戦争遺跡を

総会や講演会・観能会の開催を

総務研修委員長 岡田 真澄



昨年に引き続き総務研修委員会の委員長をさせていただきます。今年度も様々な行事、企画

が開催されます。総会や研修会等では、皆様のご意見を参考に、講演者の方々を選びすぐりしたいと思います。その他、移転して間もない日本銀行金沢支店の視察見学会や日本の古典的な芸道の香道。そして二年ぶりの観能会が開催となりました。こちらは一般の参加者も多く参加される人気のある行事の一つです。

また、十月には奈良への視察研修の開催等、女性部会会員の皆様が楽しく参加し交流して頂けるような、魅力ある企画を委員会一同考え努めて参ります。皆様の参加とご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲観能会打ち合わせ

女性部会活動の受発信の基地として

広報委員長 小林 宙乃子



昨年に引き続き広報委員長を務めさせていただきます。コロナ感染が収束したと思

きや令和六年能登半島地震と、世の中は混沌としています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。広報委員会では通常の活動のみならず、様々な社会活動や県内の情報発信など、一つ一つの記事を女性ならではの細やかな視点から誌面に表現していきます。

会員の皆様のお手元に届いた広報誌は、ぜひお友達や周りの方々にお渡し頂き、お読み頂けたらと思います。女性部会の活動を詰め込んだ広報誌をたくさんの方に発信していく一つのアイテムとして機能できたらこんなうれしいことはありません。



▲編集会議で

化等」に加え、「事業者のデジタル化促進」を新たな柱として、三つの柱に基づいて進めていくことを示しました。

事業者が日頃行う事務処理について、一貫してデジタルで完結することを可能とすることにより、事業者は単純誤りの防止による「正確性の向上」や事務の効率化による「生産性の向上」といったメリットを享受できることが期待されます。事業者の取引全体のデジタル化、会計・経理全体のデジタル化を推進することは、政府全体として取り組む重要な課題の一つとされており、

巡りながら、七十九年前の惨禍に思いを馳せて、世界平和への願いを更にはかななものにしました。各地での全国大会は部会員の見聞を広め、新たな交流を深める場です。ひとりでも多くの方に参加し体験して頂きたいと思っています。

当部会では、女性の視点を活かし、税の知識を育む小学生対象の「租税教室」。社会貢献活動として、福祉施設へのタオル・石鹸の寄贈・SDGS達成に向けて「食品ロス削減」への取り組み。広報活動として広報誌「翔け女性たち」の発行。視察研修・教養講座

つながりを大切に喜んで頂ける活動を

租税教育委員長 鶴賀 雄子



今年度、副部長と租税委員会の委員長を拝命した鶴賀雄子です。金沢法人会女性部会

では、地域小学生への租税教室関連事業である、「税に関する絵はがきコンクール」の開催や、青年部会と連携して様々な活動を予定しております。誰もが気軽に参加できる明るく楽しい、そして女性ならではの視点から思考・行動し学び多き金沢法人会女性部会を目指し、その一助となるよう尽力して参ります。

元日に起きた能登半島地震や水害で活動できない仲間達の間で、会員の皆様と力を合わせて法人会活動を物心両面に渡り支援に繋がればよいと願っておりますどうぞ皆さまお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



▲絵はがきコンクール審査会

してまいります。

また、御承知のとおり、昨年十月からインボイス制度が開始されておりますが、未だインボイスの登録事業者としての選択を迷われている方など、制度に不慣れな方もいらっしゃると思いますので、引き続き、事業者の方々の立場に立ったきめ細やかな丁寧な対応に努めてまいりたいと考えております。部会員の皆様方におかれましては、インボイス制度の円滑な定着に向けた取組に対し、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人金沢法人会女性部会の益々の御発展と、部会員の皆様様の御健勝と御繁栄を祈念いたしました私の挨拶といたします。では各人の資質向上と親睦を深めていけるよう努めてまいります。全員参加の女性部会をモットーに、それぞれの活動に積極的に取り組んで参ります。

さて、来年度は女性部会創立三十年の節目の年にあたり、周年事業に向けた準備を進めております。より良い女性部会を目指して、お一人おひとりが女性部会の担い手として輪を広げていくことを願っています。互いを尊重し、繋がりを深めて参りましょう。これからも皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

楽しみつつ社会貢献活動を

社会貢献委員長 蔵本 和美



私たち社会貢献委員会は、本会並びに青年部会のご協力を得て、研修

様よりタオル・石鹸を寄付して頂いております。今年度も同様に金沢市の児童福祉関連四施設に寄贈予定です。令和三年度より、食品ロスの課題にも取り組んでおり、年に二回、ご不要となりそうな食品を寄付して頂き、市に届けています。食品ロス関連では全法連で学んだ知識をもとに、意識の向上とどうすることが未来の環境に優しいか、さらに税金をどれだけかけて処理されているかなどを学んでいます。色々な取り組みの中で、役立つ情報を得ることはとてもワクワクします。タオル等の寄贈活動は今年度二十四年を迎え、役員一同楽しみながら継続していきます。



▲タオル集め

『つなぐ』 能登半島地震

震源地から 120 km離れた金沢。
私達の被災体験、被災者救済、被災地支援の体験を
災害教訓として特集しました。



被災地の高校生を受け入れ

(株)彩の庭ホテル 中川 亜理沙

発災当日は、まず命を守るための食事の確保を優先して行いました。朝食の材料の一部や備蓄を使って炊き出しを行い、滞在されている方はどなたでもお召し上がりいただけるよう、事態が落ち着くまで数日間をわたり取り組みました。

石川県による二次避難所確保の動きが始まってからは、できる限りお部屋を提供させていただき、五十四名の被災地の高校生を受け入れることとなりました。およそ一か月の受け入れの間は手探りではありましたが、学生の皆さんの衣食住の不安をできるだけ減らすことで大学受験という大きな目標を支えることができるようスタッフ一丸となって務めました。この時、近隣の方々やお取引がある企業の皆様から多くのあたたかいご寄付やご支援を賜り、あらためて大きな「ご縁」の力とその大切さを実感いたしました。これ



からもこの「ご縁」ある皆様とともに、様々な視点から石川の復興・発展に尽力したいと考えております。

命に直結する

医療支援の強化を

(株)トモコ・メディカル・エージェンシー 船崎 外茂子

今回、私たち医療機関・介護施設関係も、能登大地震により酷く辛い困難を経験しました。まず、能登半島エリアでの物理的被害です。多くの医療機関や介護施設は建物が損壊し設備が使用不能になり通常のサービスはできなくなりました。地震直後は道路が大きく損壊し、入院中の重症患者さんや入所していた自立できない高齢者等、専門的なケアを要する方達の迅速な避難は非常に困難でした。

さらに、医療物資・薬剤の不足は深刻でした。地震により道路が寸断されて物流が停止し、医療物資・薬剤の供給が途絶え在庫も切れ不足に陥り救命活動や治療が制限される状況が続きました。特に、慢性疾患患者さんが必要な薬剤が不足し命に係わる事態も発生していました。また当日勤務の施設職員や医療従事者自身も被災者の一人にも関わらず自宅に帰れず必死に対応されていきました。一方、家族の安全確保やケアに追われ医療機関、施設現場に戻れない医療従事者も多く、現場の人



員不足も深刻な問題となり患者さんへのサービスがさらに困難を極めました。徐々に避難所へ移動できたものの、さらに皆さんの医療ボランティアも徐々に能登へ向かいましたが、すべての避難先での医療・介護には限界がありました。

また、住み慣れた家、地域を離れた避難所での不便な生活は、心理的なショックや不安を生み、体調を悪化させる患者さんも多くいました。弊社も、金沢や加賀方面の病院や介護施設に避難して来られた方のお薬のフォローやケアをさせて頂きましたが、多くの人が精神的なケアも必要と強く感じました。

今回の能登大地震では、医療や介護現場でも大きな被害を受け問題が発生しました。それにより今後の防災対策を考える上において、避難計画の見直しや医療物資の備蓄、医療介護面における専門的支援体制を強化するべきと感じました。

地盤の大切さ

神田木材(株) 尾山 外志子

地震警報で家の中に飛び込んだ。普通は飛び出すのだが、道路際の一室を平屋にして地震対応にしてある。敷地は盛土だが表層改良をすると六価クロムの溶出や、資産価値が下がるのを防ぐ為地盤改良はしなかった。今なら、自然石の柱状改良かジオクロス工法、又スーパージオ工法をするのに。家は凄く変形し倒壊するかと思った。母と二人用意してあったヘルメットを被りズックを履き洋服を着たまま休んだ。翌日外回りを確認した。壁、基礎等クランクはあるが大丈夫と安心した。気



全壊のグループホーム

特定非営利活動法人菜の花 岩田 京子

羽咋市にあった「グループホーム菜の花・羽咋」が液状化で全壊し、発災直後は津波を恐れて高台に避難し、利用者さんと職員は着の身着のまま「グループホーム菜の花・七尾」に逃げました。しかし、一晩でトイレがとんでもない事態になり、報道で断水解消のめどが全く立たないことを知った私は、一月二日、七尾と羽咋の入居者の十八名を「グループホーム菜の花・金沢」に避難させることにしました。職

員を総動員し、職員車を利用者さんと最低限の衣類と寝具を乗せて、四〜五時間かけて金沢に到着。しかし翌日、のと里山海道の大渋滞で通勤に片道四〜五時間かかることが判明し、直ちに職員の勤務体制を二十四時間連続勤務に変更。疲れて自宅に戻れない職員には、テルメ宿泊を提供しました。職員の渾身の努力の結果、金沢では温かい食事が食べられ、水洗トイレが使える入浴もできました。トイレが流せないというところは凄まじいことで、災害時のトイレ問題の重大さを、身をもって知る結果となりました。



みなし仮設住宅

制度利用に関わって

(有)アイシン不動産 武部 淳子

不動産業を生業として五十年余り、みなし仮設住宅制度の利用に初めて係わることになりました。地震翌日の朝、私の携帯がなりました。珠洲から知人二家族七人が、車二台で金沢へ向かうと。普段なら三時間のところを十二時間かけて到着、道路が寸断され小さい子を連れて必死の道中だったと思います。その時の一番の不安はガソリンが無くなることだったそうです。

みなし仮設住宅とは、民間の賃貸住宅を不動産業者の仲介により一時的に提供する住宅のことです。かかる費用は県の負担で家賃の上限は世帯人数により決まっています。自宅が半壊以上の被害を受けた人は原則二年間、自宅がある地域で水道等ライフラインが使えるようになっていない人は復旧までを入居の期間とし、二次被害の恐れがある人も対象となっています。

地震で一瞬にして住まいを奪われ、みなし仮設で暮らす被災者は県内外で約三千八百世帯になります。この混乱の中、七月二十五日付新聞によるとみなし仮設で暮らす自宅が、半壊未満の被災者に県より年末までに退去を促す文書が送付されていました。地元に戻るかどうか決まっていなかった、自宅を直したくても費用の面や業者が見つからない等、山積する問題の中で被災者に



は動揺が広がり猶予を望む声が上がっています。電化製品生活必需品は申請し基準にあえば支給され、保育料不要医療費免除等の手厚い支援はありますが、生活を立て直す目途が付くまでは住まいの入居期間に幅を持たせることが必要になってきていると思います。(七月時点)

九月の豪雨で大雨特別警報が出されるのは石川県で初めてのことでした。みなし仮設住宅を出て能登に戻り、また豪雨災害に遭われた方が、再度この制度を利用しようとしてもできません。住まいの確保は緊急を要しています。(九月時点)

能登支援【古着市】開催!

丸六(株) 篠原 ひろみ

震災より九カ月が過ぎ復興に向き動き出す中、家屋解体に際し、タンスの着物を捨てるに忍びないとの相談が多く寄せられました。そこで、新聞社等のご協力にて「能登のきものを救おう」と題しキャンペーンを開催。多くの方々がきものにまつわる思いを胸に、沢山持ち込まれました。

そこで着物好きの方や和の小物づくりのボランティアグループの方にお声掛けし「古着市」を三回開催。延べ四〇〇人ほどのご来場をいただきました。【収益金】は赤十字を通して能登復興支援として寄付させていただきました。趣旨に賛同、ご協力頂きました多くのきものファンに心から感謝いたしております。

私共日本きもの文化振興会では、日本のきものを通じて国内はもとより世界へ向け和の文化や精神を発信する活動を続けており、平和な世界の実現に寄与してまいります。



令和6年
2月1日

地震災害保険

迅速な研修会開催

大同生命ビル八階会議室に於いて「地震災害に関する損害保険の特別研修会」が、A I G損害保険株式会社のご担当の方を講師に迎え「地震災害に関する損害保険について」と題して開催されました。地震発生より丁度一か月であり、時宜を得た研修でした。地震保険は火災総合保険とは違い、損害額を見積って保険金が支払われるものではない保険だという事でした。政府が民間損害保険会社に再保険

を提供する保険で世界的にも珍しい保険ということで、算定の仕方にも鑑定士が現場で調査するという事でした。その調査の仕方も、亀裂の面積計算をする等専門性の高い調査だそうです。我々は企業の取引先等に適切なアドバイスをする事が出来て大変助かりました。

この時期に開催を手配頂きました事務局及びA I G損害保険株式会社様には、大変お忙しい中をやり繰りして頂きました事、感謝に堪えません。

(尾山 外志子記)



▲真剣に聞き入る参加者



▲説明に熱が入ります

製造業 匿名

自宅は、置物が一つ破損しただけで済みましたが、会社の駐車場の一部が液状化現象で、段差ができてしまい、修復に時間と費用が掛かりました。地震保険に入っていなかったため、すぐに加入しました。

㈱クラモト米業 蔵本 和美

米が何本も倒れましたが、製米機などは問題ありませんでした。対策は何もしていなかったため、もし、営業日だったらどうなっていたらと思う。社員一人ひとりの安全確保が重要、学校のように防災訓練が必要だと思いました。また、紙の書類などはテークに移行するなど大切だと感じました。

製造・飲食業 匿名

工場は被害がありませんでしたが、店舗ではガス管の破損や食器類の破損がありました。今回の地震は能登地方が被害が甚大なものでした。七月にのり海道が一部対面通行ながら開通したため、親戚の家が気かりでもあり、珠洲市正院町に行きました。想像以上の被害状況で、半年以上経っていても復旧には程遠い状況でした。これから復旧にどれだけの時間がかかるのか想像もつかないくらいです。今後、能登地方が忘れられた存在にならないことを願うばかりです。

サービス業 匿名

上階の温水器破損による漏水で一か月間店舗を休業しました。BCP対策として、社員安否確認アプリを導入しておいたことは、とても役に立ちました。

建設業 匿名

外壁の一部、和室の壁などにひびが入り、飾り物が割れる被害がありました。「修復費用が出るかもしれませんが」の会計士さんの助言にて、自宅は市に申告しました。

㈱中川印刷 中川弘子

自宅は築五十年ほどですが、庭の十尺くらいある灯籠の頭の部分がずれて落下しました。能登全域の被災を受けられた方に心よりお見舞い申し上げます。年齢的に無理だと思いましたが、何かボランティアでお手伝いをできるようなしたら、お声かけ頂きたいと思っています。

(株)ハオ 羽岡 絵美子

物質的な被害よりも、地震災害による購買意欲の落ち込みで大打撃を受けています。行政の災害名称「第二次被害」です。当社はせいたく品の小売業です。こんな時は一番先に影響が出ます。そして、回復するのが一番最後です。人に見えない被害ですから、どこへ行っても現金を求められます。収入が減少しているのに、義援金を出すことも難しいです。終わりの見えない窮地に耐えています。

製造・小売り・飲食業 匿名

地震保険の見直しをすること。経年劣化の一言で地震でできた亀裂等は該当しないとのことでした。会社の建物に、地震保険は掛ける必要はないと思いました。築二十三年の三階建てです。

能登半島地震に寄せて

飲食業 匿名

店舗の内壁にヒビが入り、建具と建具の間もすき間ができました。建物のヒビは築百年以上の木造のため、少しの被害は想定内でした。一部コンクリートや柱が太く狭い部屋は、被害はありませんでした。それを踏まえて、物品などはその部屋へ移動しました。棚から落下した物品は今回一点のみで済みました。今後はクッション入りの箱に入れて保管することとしました。

令和6年
2月9日

第二回 研修会

映画「レディ加賀」の裏話を聴く

第二回研修会は、二月に公開された映画、「レディ加賀」の裏話と題して、当部会員のNPO法人小粋なきもの倶楽部理事長鶴賀雄子氏に講師をお願いしました。

この映画は、北陸新幹線敦賀延伸に伴うタイムミングで加賀温泉郷を盛り上げようと、温泉街の女性たちが一致団結しタッグダンスでお客様をもてなすという内容です。

鶴賀氏は、きもの倶楽部に保管されている数百枚の着物のなかから俳優さんに似合うものを選び、それぞれ帯小物等を合わせて貸し出し、更に着付けのお手伝いもされたそうです。着物のタッグダンスの練習が大変だったということも伝え聞き、話を伺った後では一層興味深く映画を鑑賞することができました。

この研修会参加者四十二名には、石川県限定特別券が配られました。

(武部 淳子記)



▲ 講師の鶴賀氏



▲ 映画の台本



▲ 撮影に使われた小道具

令和6年
2月22日

日銀視察

駅西に移転した日本銀行を視察

「日本銀行」日常ではあまり取引する場所ではありません。香林坊にあった時は、厳めしく守衛のいる入口は、金庫を思わせる有様でした。内部は、幅が広い客だまりで、一段と高い所に職員がいて、格子で守られた小さい窓口での対応でした。日銀チェックという小切手を貰う時ぐらいしか行くことはありませんでした。が、駅西に移転後、「にちぎん見録円」という広報活動が拡充され、お子様からお年寄りまで幅広い方に業務に関する知識について楽しく見学できるようになりました。

私たちが伺った時は、支店長が対応してくださいました。外観はすっきりとして、建築物は地産地消、省エネ実現に放射空調設備とエアフロ―ウインドウを導入し、消費電力の削減等、随所にエネルギー削減がされています。今年は能登半島地震で紙幣の取り替えに多数の方が訪れているそうです。親しみある施設になっていると感じました。

(尾山 外志子記)



▲ 支店長による説明



▲ 行内を見学

令和6年
3月13日

税務研修会

成長できる仕組み作りと成長の三ステップ

テップです。

人手不足の時代（離職増）に取り組むステップとしては、

一、生産性を向上させる。業務の仕組み化を行うことで「余力」を生み出す。

二、付加価値（お客様から見た価値）を高める。

三、価値を収益へ繋ぐ「収益力を上げる」収益力は値決め「適正価格」と「目標達成力」の二つの要素が重要。

四、収益を上げ、利益を増やし、その利益を活かす。優先順位の高い成長投資は「人」である。

社員に対しては、求めるのではなく、言葉・態度・表情など経営者自らを変えていくことが大切であること。また、社員の話を聴く、質問をしてあげる、否定しない、説得しないなどコミュニケーションの大切さについても話されました。

(南 逸子記)



▲ 真剣に聞き入る皆様



▲ 講師の近藤氏

ハイアットセントリック金沢にて税務研修会が開催されました。講師はGSブレインズ税理士法人代表社員税理士、GSブレインズコンサルティング(株)代表取締役社長の近藤浩三氏です。

近藤氏は一九九二年に開業して以降、税務会計業務に留まらない幅広い活動を続けています。現在では、税務会計業務を基本として、財務やビジネスモデル、マーケティング、組織づくりの経営コンサルティング事業も行い、クライアントの八三%が黒字企業に成長しています。

講演のテーマは「人手不足が続く時代に黒字継続企業がやっていること」～定着力を高め、自律人材を育て成長できる仕組みと成長の三ス

令和6年
11月22日

中濃法人会女性部会との交流懇談会

中濃法人会女性部会に金沢のおもてなし

松魚亭にて中濃法人会女性部会の皆様二十六名と金沢法人会女性部会の細川部会長ほか十九名にて交流懇談会を開催いたしました。

昨年九月二十六日～二十七日に岐阜法人会・中濃法人会との交流懇談会が開催され、楽しいご縁をいただきました。郡上八幡の散策にご同行いただき、美しい水の流れると街並みの佇まいに心癒されたひとときでした。

今回は金沢。浅野川を見下ろす松魚亭のおもてなしにて、加賀料理を堪能いただき、楽しい懇談会でした。その際、能登の震災に各社からご支援をいただいたことを知り、感謝申し上げます。

その後、ひがし茶屋街を散策。駆け足のスケジュールでしたが、金沢をほんの少し味わっていただけたかと思えます。交流懇談会はお互いに学び合う有意義な機会となりますので、ぜひまたご参加ください。

(篠原 ひろみ記)



▲ ひがし茶屋街 見返り柳の前で



▲ 歓迎の挨拶と活動内容報告をする細川部会長

令和6年
5月21日

第二十九回

通常総会開催

これからの時代を生きる女性たちへ

KKRホテル金沢にて通常総会を開催いたしました。来賓の方々の紹介に始まり、部会長の挨拶、村井専務理事より令和五年度事業報告及び同収支決算報告と令和六年度事業計画及び予算について報告がありました。

記念講演会は社会学者、女性学・ジェンダー研究の第一人者である上野千鶴子先生です。「これからの時



▲講演会終了後、上野氏と



▲金沢にゆかりのある上野千鶴子氏

代を生きるあなたへ」と題してご講演頂きました。一九六〇年代までは男性の結婚率が九七%、女性は九八%で、当時は「結婚しないと一人前ではない」と言われました。それが現在では「生涯非婚者」が男性の四人に一人、女性は三人に一人。女性の九〇歳超生きる率は五〇%以上です。それを踏まえての生き方を模索していかなければならないのではとお話でした。

その後の懇親会では上野先生を交え、皆様が楽しい交流の時を深め、温かな会となりました。

(岡田 真澄記)

令和6年
4月18日

みつめなおそう！
多島美の瀬戸

広島大会

2024

全国
女性
フォーラム



▲女性フォーラム広島大会

第十八回法人会全国女性フォーラム広島大会が、広島市の広島グリーンアリーナで、女性部会員一七〇〇名が集い開催されました。キャッチフレーズは、「2024 H I R O S H I M A 今みつめなおそう！多島美の瀬戸・豊かな里山から」です。

第一部は、広島交響楽団桂冠指揮者でNHK交響楽団の正指揮者でもある下野竜也氏の「音楽・師との出会い」今、我々に求められること」と題した記念講演でした。

第二部の式典では、主催者挨拶、来賓祝辞と続き、広島県内の女性部会の活動報告「大会宣言」の後、次回開催地である北海道連女連協に大会旗が引き継がれました。



▲江田島海上自衛隊にて



▲海自カレーを堪能

第三部の懇親会は、被爆ピアノによるウエルカム演奏で始まり、広島特産の豊かな食材を織り込んだお弁当や、アトラクションで盛り上がりました。

翌日は、江田島の海上自衛隊第一術科学校「旧海軍兵学校跡地」を見学し、広報担当の女性自衛官の案内で、明治・大正期の歴史的建築物と海軍の歴史をわかりやすく丁寧に解説して頂きました。NHK「坂の上の雲」のロケ地となった大講堂や、赤レンガ校舎の荘厳さは圧巻でした。

教育参考館には、特攻隊の遺書が収められており、平和の尊さを考える機会となりました。昼食は隊員の皆様と一緒に、食堂で有名な江田島海自カレーを頂き、短時間の見学でしたが、たいへん貴重な経験ができました。その後、広島に本店を置く「広島アンデルセン」にて、絶品スイーツを堪能し「ここでしか買えない」の言葉に弱いのか、驚くばかりの購買意欲で、お土産を買い込んでいました。

世界最初の被爆地、そして世界の恒久平和を願う都市「ヒロシマ」を感じた二日間でした。

(三崎 千鶴記)

令和6年
6月28日

石川県連女性部会
連絡協議会 総会開催

プロレスラー 蝶野正洋氏 熱く語る



▲総会



▲講師の蝶野氏

ANAクラウンプラザホテルにて、第二十四回定時連絡協議会総会が開催され、県内五つの女性部会が相互に緊密な連携を深め、能登半島地震による被災者と被災地の復旧・復興支援活動に取り組むことを、今年度の事業計画として確認しました。

引き続き、県連青連協と合同の記念講演会ではプロレスラー蝶野正洋氏をお迎えし、「肩書がなくなった自分」をどう生きるかをテーマに、ご講演頂きました。

蝶野氏は、日本消防協会「消防応援団」・日本AED財団「AED大使」

として、様々な防災・救命の啓発活動で活躍されています。「防災・救命の基本は思いやり。人を助けるためには自分が強くないと。そのためにもまずは自助、その後に共助。公助の部分では自治体は様々な防災の情報を出しているも住民は意外にキャッチできていないので、情報に興味をもってほしい。防災も救命も、知識を持つておくことが大切」と熱く語られました。講演の最後には、蝶野氏のサイン入り色紙をゲットする全員参加のじゃんけん大会もあり、会場全体が盛り上がりました。

(三崎 千鶴記)

令和6年
7月9日

第一回 研修会

優雅に香道体験

宇多須神社にて香道の体験講座が開催されました。奈良から(公財)お香の会理事長の山田法胤薬師寺長老ら五名ほか、金沢の講師もお見えになり、とても贅沢な体験会となりました。祈祷で身を清めた後に広間にてお香の歴史を教えて頂き、お香は「嗅ぐ」のではなく「聞く」ということを学びました。最初は、参加者の皆さん、緊張した

面持ちでしたが、講師の先生方より「どうぞ足を崩してください」という一言でホッと緊張が解けたのがわかりました。

今回は香道の組香の一つ、源氏香に挑戦。五個の香を順番に聞き分け、その異同を香りに対応した五本線の源氏香の図で表すのですが、これがとても難しく、香りの違いは分かっても五十四個の表からその図を見つけて出すのがとても時間がかかりました。三十名近くの参加者の中で、正解者はわずか二人。素晴らしい嗅覚を持つ方がいらっしゃいました。また香り聞きながら、色や情景を思い浮かべ記憶する。脳内のイメージを司る右脳をフル回転させるなど快く優雅な体験となりました。

(竹中 真世記)



▲山田法胤長老と一緒に



▲講評



▲400万円の伽羅

令和6年
9月8日

食品ロス削減活動

「もったいない」をなくそうバスツアーに参加

金沢市食品ロス削減推進協議会主催「もったいない」をなくそうバスツアーに参加しました。さつまいも農場では、芋ほり体験とともに五郎高さつまいも部会の方より、大きさにより無駄のない消費方法をお聞きしました。

ぶどうの森では、ぶどうの木・ぶどう園・ぶどうの森になった経緯をお聞きして、室内では冷房を入れながら窓を開け、ぶどうに優しい環境に。レストランでは自社農園と協力

して無農薬の野菜を提供、また近隣の農家の方々と協力して農園を広げているとのことでした。世界では食べ物がなく餓死している人々の様子がテレビで放映される中、日本では年間六百万トン超の食品ロスが発生、その約半分が家庭から。「もったいない」の意識づけを心がけて生活しなければと考えさせられました。

(池田 祐子記)



▲立派なさつまいも



▲芋掘り体験

令和6年
9月11日

第二回 研修会

六回目の観能会「半部」

石川県立能楽堂において、初秋の観能会が開催されました。

当日は初秋にもかかわらず、大変蒸し暑い一日となりましたが、開演前の早くから大勢の方が来場され、大盛況での開幕となりました。

今回の来場者数は部会員二十名、一般の方は百六十七名（うち岐阜女子大学学生三十九名、教授五名）にお越しいただきました。大勢の方々が関心を持たれて来ていただけることはとても素晴らしいことと感じます。

スタートの細川部会長の挨拶に続き、松田若子先生に今回の演目「半部」の解説をいただきました。半部は格子の上部を外側へ上げて開く建具のことで、舞台上に半部が設置され、中に夕顔の霊が入るといって舞台演出となっています。

源氏物語「夕顔の巻」に描かれる光源氏と夕顔の上の恋物語が題材となっていて、夕顔の霊が光源氏と出逢った頃を思い出し、その



▲雲林院の僧(ワキ)



▲夕顔の霊(シテ)

頃をひたすら懐かしみ、恋心を語り舞う幻のような、しつとりと優美で儚き夢の物語だそうです。古典芸能という難解な能の世界を、楽しげにお話しされる松田先生がとても印象的でした。今回は岐阜女子大学の学生三十九名が幽玄の世界に触れ、これからもしっかりと彼女達の中から古典芸能に興味を持ち、引き込まれる方もいらっしゃるかも知れないと思うと、今年で六回目を迎えるこの活動はとて有意義で素晴らしいものだと感じました。

(田中 陽雫美記)

令和6年
10月9~10日

視察研修

日本の原点・奈良路へ

十月九日より二日間、奈良へ視察研修が行われました。当日は天気も良く、総勢十八名でバスにて出発！最初の視察は日本国の始まりとされる橿原神宮です。今回は特別に薬師寺の山田法胤長老もバスに同乗いただき、日本の国の歴史など興味深いお話を聞かせていただきました。各所の歴史の興味や関心を持った歴史上の人物達の関係性を教えて下さり、理解が深まりました。橿原神宮での正式参拝は厳かな気持ちで境内を進みました。昼食を頂き、次は天武天



▲伽藍前の西塔にて



▲喜光寺にていろは写経



▲天武・持統天皇陵にて

皇・持統天皇の天皇陵、三輪大社を巡り、ホテル日航奈良へ。二日目は薬師寺です。薬師寺の山田法胤長老から天武天皇が皇后の病氣平癒を祈り発願されたこと、薬師寺の経営という課題に取り組んでこられたことなどをお聞きしました。経営という視点からの話題には多くの気づきがあり、どんな経営も利益を出すための工夫と努力が必要で、新しくチャレンジし変革成長しなければいけないこと、また千三百年の歴史ある薬師寺の運営にも通じていたことは新鮮で大きな学びとなり、私たちの経営にも活かしていきたいと思えました。次は、喜光寺にて「いろは写経」。久しぶりに筆を執り、写経は初めての体験でした。歴史ある奈良ホテルで昼食をいただき、ラコリーナ近江八幡に立ち寄り、盛りだくさんの内容で大満足で帰路につきましました。

(桶川 雅子記)

令和6年
10月29日30日

社会貢献活動

楽しみつつ社会貢献活動を

今年で二十四回目となるタオル持ち寄り運動では集めたタオルを十月二十九日に社会福祉法人希望が丘、十月三十日には金沢こども医療福祉センターへ寄贈いたしました。希望が丘では子どもたちの部活の時の汗拭きに、また石嶽の匂いをかいで微笑む子など様々なシーンに活用していきますと喜びの声をいただきました。地道な活動ですが始めたときの気持ちを受け継いで長く継続できることを願います。来年には聖霊病院の福祉施設二か所に寄贈予定です。

品を集める予定です。皆様の協力をお願いします。

(蔵本 和美記)

食品ロスの取り組みでは知ることを目的に金沢市役所が主催する商品ロスバスツアーに参加しました。講演会等の時にご不要となりそうな食



▲金沢こども医療福祉センターにて

★寄贈先★

- 社会福祉法人 希望が丘
- 石川整肢学園 金沢こども医療福祉センター
- 聖霊愛児園、乳児院

★寄贈品明細★(五年度実績)

- ・タオル 八八〇本・石鹸 二〇〇個・入浴剤 二九袋
- ・マスク 六一枚・募金 三〇,〇〇〇円 外

女性部会活動

令和6年
11月16日

税に関する絵はがきコンクール

第十四回絵はがきコンクール表彰式を開催

ホテル金沢にて絵はがきコンクール入賞者の表彰式が執り行われました。

金沢税務署管内の金沢市、かほく市、内灘町、津幡町の小学校五・六年生を対象として、四十校から、過去最高の千五百四十四名の応募があり、その中から三十九名の受賞者が出されました。緊張の中にも誇らしげに晴れ晴れとした表情の受賞者達は、自分の作品や賞状を付き添いの家族と共に写真に収めたり、審査員長の大丸七代先生から寸評を受けたりしました。

大丸先生の講評では、来年度には中学生になる六年生に対し、この受賞を誇りに思い、絵をもっともっと好きになって欲しい、また五名の五年生受賞者に対しては、たくさん絵を書いて、来年も必ずこの席に戻って来てほしい、と励まされた言葉



▲ 石川県連女連協会長賞



▲ 金沢税務署長賞



が印象的でした。私達女性部会では、来年度以降も引き続き租税教室を開催し、多くの児童に納税の意義や理解を深め、絵はがきコンクールに応募して貰えるよう、更に租税教育活動を活性化させなければならぬと、思いを新たにしました。(通善 なつ記)



金沢法人会女性部会長賞
杜の里小学校
中江 梨葉さん



金沢法人会賞
明成小学校
酒井 晴さん



金沢税務署長賞
浅野町小学校
柳 志歩さん



石川県連女連協会長賞
米泉小学校
塚本 彩乃さん

受賞作品



優秀賞
花園小学校
杉山 桃香さん



優秀賞
額小学校
海老塚 愛奈さん



優秀賞
長坂台小学校
毎田 茜音さん



優秀賞
新神田小学校
岡崎 美咲さん



優秀賞
犀桜小学校
下川 以登さん

令和6年
5月2~17日

租税教室開催

間借り校舎でも実施 真剣な子供たち

令和6年度の租税教室は、金沢市の扇台小学校と額小学校、内灘町の西荒屋小学校で、五月に開催されました。西荒屋小学校は元日の能登半島地震の影響で校舎が使用できなくなり、他校で間借りをしている状態でしたが、予定通り実施して下さり、大変な環境下でも一生懸命学習している子供達の姿に目頭が熱くなりま

した。租税教室では、アニメ化したDVDを観て、税金の必要性を考えたり、税金の種類や目的をクイズ形式で質疑応答したり、参加した六年生は皆意欲的に楽しく学んでくれました。

租税教室の関連事業である「絵はがきコンクール」に、今年度は千通を超える応募がありました。長年に渡る租税教室開催の成果の賜物と感じています。今後も租税教室を通して、次世代を担う子供達に納税の意義や役割を正しく学んで貰えるよう、お手伝いを継続していきたいと思えます。(通善 なつ記)



▲ 内灘町立西荒屋小学校にて

◆金沢税務署長訪問

「税に関する絵はがきコンクール」実施にあたり、細川エリ子女性部会長らが金沢税務署を訪ね、署長に「税に関する絵はがきコンクール」の応募用紙を手渡し、協力をお願いしました。



(小林 宙乃子記)

年間事業行事

令和5年度 ■全女連(全国) ■県女連(石川県内)

- 4月13日 ■第17回 法人会全国女性フォーラム 愛媛大会
- 5月10日 租税教室 金沢市立馬場小学校
- 5月12日 租税教室 金沢市立額小学校
- 5月23日 第28回 通常総会
<記念講演> 「デジタル時代の価値創造」
石川県副知事 西垣 淳子氏
- 6月21日 ■石川県法人会連合会女性部会連絡協議会
第23回 定時連絡協議会(総会)
<青連協・女連協合同 記念講演>
「繋ぐ～バレーボールが教えてくれたこと～」
元女子バレーボール日本代表 大山 加奈氏
- 7月12日 ミニ教養サロン「健康と美しさのための、心地よい眠りとは」
樹石田屋 代表取締役 田中 陽聖氏
- 9月12日 第1回 研修会
「法人会女性部会メンバーだけのステップアップ講座
～あちらのエlegantな方はどなたかしら?～」
金沢市きもの文化コンシェルジュ 鶴賀 雄子氏
- 9月22日 フードドライブ
- 9月26~27日 岐阜北法人会、中濃法人会との交流懇談会 及び視察研修
- 10月4日 寄贈 石川整肢学園 金沢こども医療福祉センター
- 10月5日 寄贈 社会福祉法人 希望が丘
- 11月25日 税に関する絵はがきコンクール 表彰式
- 12月10日 「翔け女性たちVol. 24」発行

令和6年度

- 2月1日 「地震災害に関する損害保険について」
AIG損害保険株式会社 金沢支店長 松山 俊樹氏 外
- 2月9日 第2回 研修会
映画「レディ加賀」の裏話
NPO法人小粋なきもの倶楽部 理事長
金沢市きもの文化コンシェルジュ 鶴賀 雄子氏
- 2月22日 見学 日本銀行 金沢支店
- 3月5日 寄贈 聖霊愛児園・乳児院
- 3月13日 税務研修
「人手不足が続く時代に、黒字継続企業が必ずやっていること」
～定着力を高め、自律人材を育て、成長できる「仕組み」と「成長の3ステップ」～
G.S.ブレインズグループ 代表 近藤 浩三氏
- 4月18日 ■第18回 法人会全国女性フォーラム 広島大会
- 5月2日 租税教室 内灘町立西荒屋小学校
- 5月9日 租税教室 金沢市立扇台小学校
- 5月17日 租税教室 金沢市立額小学校
- 5月21日 第29回 通常総会
<記念講演> 「これからの時代を生きるあなたへ」
社会学者・東京大学名誉教授 上野 千鶴子氏
- 6月28日 ■石川県法人会連合会女性部会連絡協議会
第24回 定時連絡協議会(総会)
<青連協・女連協合同 記念講演>
「肩書がなくなった自分」をどう生きるか
プロレスラー 蝶野 正洋氏
- 7月9日 第1回 研修会 香道
- 9月11日 第2回 研修会 観能会「半部」
- 10月9.10日 視察研修 奈良方面
- 10月29日 寄贈 社会福祉法人 希望が丘
- 10月30日 寄贈 石川整肢学園 金沢こども医療福祉センター
- 11月16日 税に関する絵はがきコンクール 表彰式
- 11月22日 中濃法人会との交流懇談会
- 12月00日 「翔け女性たちVol. 25」発行

個人住民税の特別徴収 Q & A

Q1 「特別徴収」はしなければならないのですか。

A1 地方税法321条の4及び市町の条例により、原則として所得税の源泉徴収義務のある事業主は、従業員の個人住民税を特別徴収しなければならないとされています。事業主の皆さまには、法令に基づく適正な事務処理の観点から特別徴収の実施をお願いしております。

Q2 「特別徴収」は手間がかかりそう。従業員も少なく、事務をする余裕がないのですが、特別徴収をしなければならないのですか。

A2 個人住民税の特別徴収は、事業主の方が行うべき法律上の義務とされていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

個人住民税の特別徴収を実施しても、所得税のように税額を計算したり、年末調整したりする手間はかかりません。

事業主の方は、市町から通知される従業員ごとの税額を、毎月の給与から徴収(給与から引き去り)し、翌月の10日までに、金融機関を通じて従業員の住所地の市町ごとに納めていただきます。特別徴収にすると、従業員が納税のために金融機関や市町の窓口に向かう手間が省けます。毎月の給与から特別徴収(給与から引き去り)されることで、1回当たりの税負担額が少なくなります。(普通徴収では年4回払い、特別徴収では年12回払い)

従業員が常時10人未満の事業所等は、市町長の承認を受けて特別徴収税額の年12回の納期を年2回にする「納期の特例」制度(給与からの引き去りは毎月実施)がありますので、該当する場合は、関係市町に御相談ください。

Q3 アルバイトやパートも「特別徴収」をする必要がありますか。

A3 所得税を源泉徴収されている従業員(アルバイトやパートを含む)については、個人住民税についても特別徴収していただく必要があります。

Q4 個人住民税の特別徴収分は「キャッシュレス納付」できますか。

A4 地方税共同機構が運営する「eLTAX(エルタックス)」を利用することによりキャッシュレス納付が可能です。

各種納付方法については

地方税共同機構ホームページをご覧ください。

地方税共同機構

検索



<https://www.eltax.lta.go.jp/>

個人住民税の特別徴収の具体的な手続きに関する市町のお問合せ先

市町名	担当課	電話番号	市町名	担当課	電話番号
金沢市	市民税課	076-220-2161	野々市市	税務課	076-227-6036
七尾市	税務課	0767-53-8412	川北町	税務課	076-277-1120
小松市	税務課	0761-24-8030	津幡町	税務課	076-288-2123
輪島市	税務課	0768-23-1126	内灘町	税務課	076-286-6706
珠洲市	税務課	0768-82-7735	志賀町	税務課	0767-32-9142
加賀市	税料金課	0761-72-7815	宝達志水町	税務住民課	0767-29-8150
羽咋市	税務課	0767-22-7130	中能登町	税務課	0767-72-3136
かほく市	税務課	076-283-1114	穴水町	税務課	0768-52-3630
白山市	市民税課	076-274-9514	能登町	税務課	0768-62-8518
能美市	税務債権課	0761-58-2206			

※このチラシは、すでに特別徴収を行なっている事業主の方にも送付しております。



事業主の皆様へ 石川県及び県内全市町からのお知らせ

石川県内のすべての市町は、個人住民税の特別徴収完全実施に取り組んでいます。

石川県内のすべての市町は、原則すべての事業主(給与支払者)の方を特別徴収義務者として指定しています。

事業主の方は、従業員(給与所得者)の方の個人住民税を特別徴収(給与から引き去り)していただくことになります。

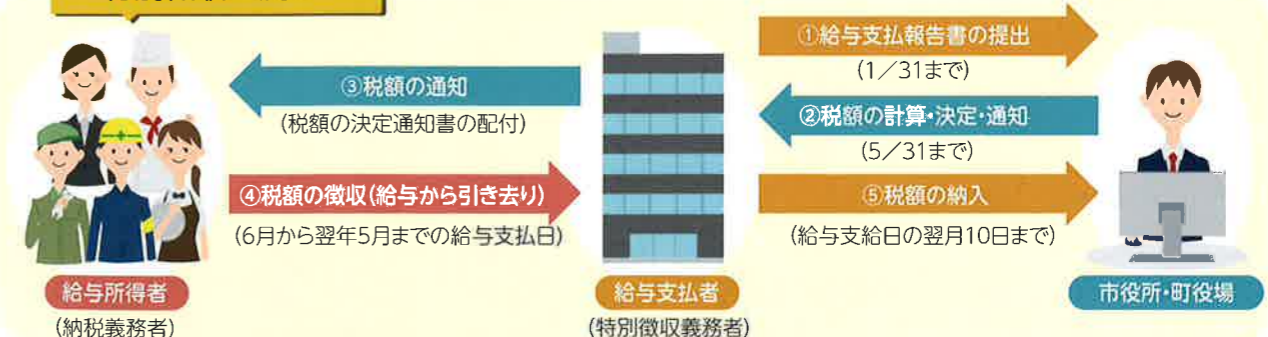
特別徴収制度とは?

所得税の源泉徴収と同じように、事業主の方が従業員に代わって、毎月の給与から個人住民税(市町民税+県民税)を徴収(給与から引き去り)し、従業員の住所地の市町に納入する制度です。

※ただし、以下の基準に該当すれば当面、例外的に普通徴収が認められます。

- A 総従業員数が2人以下(B~Fの理由に該当するすべての従業員数を除いた人数)
- B 他の事業所で特別徴収をされている方(乙欄適用者)
- C 給与が少額で特別徴収税額の引き去りができない方
- D 給与の支払が不定期な方(例:給与の支払が毎月ではない)
- E 個人事業主の事業専従者で、専従者給与を受けている方
- F 退職者・退職予定者(5月末日まで)及び休職者(4月1日現在で給与の支払を受けていない休職者に限る)

特別徴収の流れ



詳しくは、従業員の住所地の市町にお問い合わせください(次頁参照)。

石川県・県内各市町

新入会員紹介

- Q.1** 自己PR **Q.2** 趣味
Q.3 一番行ってみたい国は? その理由



なかがわ ありさ
中川 亜理沙
株式会社金沢の庭ホテル

- A.1** このたび素敵なご縁あって、皆様と共に活動させていただくこととなりました。お一人お一人との出会いを大切に、お力になれるよう精一杯努めて参ります。とても人見知りなので是非気軽にお声がけいただけますと嬉しいです。よろしくお願いいたします。
- A.2** 読書
- A.3** フランス モン・サン＝ミシエルに一度行ってみたいです。



ふくえ みなこ
福江 美奈子
(有)デューン

- A.1** 金沢市で賃貸業を営んでおります。美味しいものを食べることや、巨木、磐座、山々や滝、太陽や星空、季節を感じる景色に身を置くことが大好きです
- A.2** 旅行、食べ歩き、写真
- A.3** たくさんあって選べない程ですが、スイス、なぜ永世中立国なのか興味がありますドイツ、手工業のマイスターの技術に触れたい



おがわ みきこ
小川 美貴子
アフラック金沢支社

- A.1** 千葉出身の小川です。金沢に赴任して2年目になります。祖父母の出身地である石川県で生活できていることに不思議なご縁を感じております。よろしくお願いいたします。
- A.2** 旅行、ランニング
- A.3** ベルー マチュピチュを見てみたいため



まつえ きみこ
松栄 喜美子
北陸地建株式会社

- A.1** 父が創業した土木工事の会社に入社して10年目です。事務所で女性社員さんたちと和気あいあいと仕事をさせていただいています。[実は人見知りなんです]と言うと大層の人は「えっ?」と驚かれますが、本当に初対面の方にはなかなか話しかけられません。打ち解けるまで時間がかかると思いますが、その壁を超えればお喋りになります。どうぞ宜しくお願い致します。
- A.2** 愛車を洗車してから、あてもなく運転する事娘と美味しいケーキ屋、パン屋を探す事
- A.3** 特に行きたい国はありません。治安や食べ物事を考えたら海外は考えられませんでした。逆に国内で行ったことのないところがたくさんあるので行ってみたいと思います。



こうげ まさこ
高下 雅子
(有)201 クリエイテッド

- A.1** 社会人の学び直して美大を卒業し、デザインの会社を起業しました。様々な経験を活かし、クライアント様に寄り添ったご提案を心がけております。
- A.2** 作ること全般で、現在は洋裁が趣味です
- A.3** 「中国 莫高窟」東西文化が融合した仏教芸術に触れたい。



むろや かずな
室屋 和菜
むろや会計

- A.1** 金沢市で公認会計士・税理士をしております。先輩方から多くを学びつつ、地域社会に貢献していければと思っています。お仕事のご相談だけでなく、色々なお話ができるのが嬉しいです。経験豊富な皆さまと一緒に、楽しく成長していけるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。
- A.2** 食べることと、下手ですがゴルフ
- A.3** スペイン。世界中を旅した人が一番良かったと言っていたから。



しもで みか
下出 美香
株式会社KI・RA・RI

- A.1** 会社は加賀市を拠点に、地域社会に密着したビルメンテナンス事業を展開しています。また、健康マージャンの普及活動をしており、NPO法人いきいき元気塾の理事を務めており、健康マージャンの普及活動に力を入れています。健康マージャンは、脳トレーニングとしても効果があり、多くの方々に楽しんでいただいています。また、保護者としての活動も行っており、社会復帰を目指す方々のサポートをしています。地域社会に貢献するため、様々な支援活動を続けています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。
- A.2** 映画鑑賞、音楽、ゴルフ(下手です)
- A.3** ヨーロッパ(ドイツやフランス)30年ほど前に新婚旅行で訪れたドイツやフランスに再び行ってみたいです。ドイツでは、美しい古城や豊かな歴史文化に再び触れたい。またフランスでの街並みや食を楽しみながら、思い出の地を巡りたいです。

編集後記

一年に一度発行する女性部会広報誌「翔け女性たち」。今年も様々な活動を振り返りながら編集を進めました。

例年の活動に加え、今年は能登地震で被災した企業、被災者支援した企業の状況や取り組み、生の声の特集しました。編集作業は簡単なことではなく、何度も推敲を重ねる内容を練り上げていきました。その過程で記事に込められた思いや寄せられた声に触れ、深い感動と勇気をいただきました。

復興の歩みは長く続きます。この誌面から能登や地域を支える力強い姿を感じていただければ幸いです。また、女性部会が日々行っている活動に触れ、その意義を感じていただければと思います。ともに明日への希望を繋げていきたいと思います。

(小林CHATGPTにて)

編集発行人

広報委員会

《委員長》小林由乃子

《編集スタッフ》

尾山外志子
佐津川江美子
篠原ひろみ
竹中 真世
武部 淳子
船崎外茂子
三崎 千鶴

印刷所

安達写真印刷株式会社